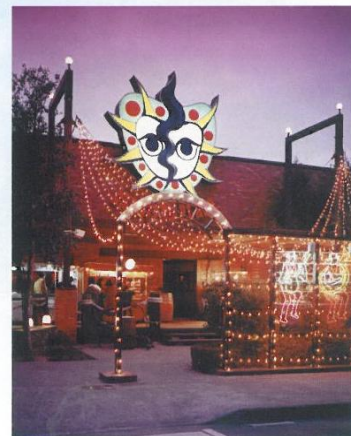


モニュメント事業「リオちゃんふる里へ帰る」



1983年オープン当時のカーニバルプラザとリオちゃん

1983年（昭和58年）12月にオープンされたカーニバルプラザ江坂は、座席数870余を数え、超大型レストランとして、その建物の特殊な趣きと、演出の楽しさで大変な人気となり、連日数時間の待ち時間となる盛況でした。



2007年のリオちゃん



吹田市立博物館の敷地内にたたずむリオちゃん

その後、1999年8月（平成11年）に経営が株式会社ダスキンさんから株式会社サンリバーさんへ譲渡され、江坂の名所として人気を博していましたが、2007年9月末（平成19年）にクローズされました。

建物の玄関を飾り、シンボルとなって来客の多くに親しまれていたモニュメント（通称：リオちゃん）との別れを惜しむ声が多く、株式会社サンリバーさんが吹田市に寄贈されて保存されることになりました。

同年、市立博物館で開催された「エキスポ70万博展」の展示物として博物館周辺の地に架設されていましたが、催しが終了してからもその地に設置されたままになっていたことから、生誕の地「江坂」へ里帰りさせようとの声が起こり、これを受けて吹田商工会議所さんの60周年記念事業・吹田西ロータリークラブの30周年記念事業 又吹田にぎわい観光協会としての協賛を得て、ここにリオちゃんは、「ふる里」へ帰る事ができました。

「リオちゃん」の大きな瞳は、「安心と安全の街」を願って、道行く人達を温かく見守ってくれることでしょう。



プロジェクト後のリオちゃん（豊津公園の完成イメージ写真）